



協 和

足利市立協和中学校長 中村 徳 幸

※右上のQRコードから「協和中学校ホームページ」をご覧ください。



『人権教育講演会』が開催されました！

6月14日(月)、15日(火)、17日(木)の3日間、学年ごとに、人権教育講演会を開催しました。

足利市出身でパラアーチェリー選手である大塚 忠胤(おおつか ただつぐ)選手をお招きし、「楽しく生きる」という演題で、講話と実演をしていただきました。また、各学年の代表生徒がアーチェリー体験をさせていただきました。

【3年生代表生徒 感謝の言葉】

大塚選手のお話を聞いて「冒険をする」という言葉が印象に残りました。私も、これからたくさんの挑戦をして、自分の進路実現に前向きに取り組んでいきたいと思えます。

中学校生活最後の1年が充実したものになるよう、大塚選手のように3年生全員で頑張っていきたいと思えます。

これからもお体に気をつけて、がんばってください。本日はありがとうございました。

■大塚 忠胤(おおつか ただつぐ)選手 プロフィール

競技種目：パラアーチェリー

栃木県足利市出身、1968年生まれ

18歳の時にバイク事故に遭い、右上肢機能が全廃。

その後フィールドアーチェリーと出会い、競技を始める。

犬歯で弓を引く独特のスタイルを貫き、限りない可能性に挑戦し続けている。



大塚選手ホームページ



自身の体験談を語る大塚選手



アーチェリー体験をする代表生徒



実際に口で弓を引く大塚選手



感謝の言葉を述べる代表生徒

『足利地区春季水泳競技大会』が開催されました！

6月19日（土）大雨の中、足利市総合運動場プールに於いて、足利地区春季水泳競技大会が行われました。スタンドには「のぼり旗」「横断幕」が飾られ、選手を応援していました。どの選手も『KYOWA+』の精神で、最後まであきらめずに取り組んでいました。



スタンドに飾られた応援旗



力強く泳ぐ選手たち

『コンタクトレンズの空ケース回収活動』が表彰されました！

昨年度から協和中学校が実践している『コンタクトレンズの空ケース回収活動』に感謝状が贈られました。

使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、全てポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに適しています。ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO2排出量を削減します。再資源化された安価な材料は、様々な製品に生まれ変わります。

皆様のご自宅に、コンタクトレンズの空ケースがありましたら、是非、協和中学校までご持参ください。代表して、協会に届けさせていただきます。よろしくお願いいたします。



『むぎそよ農園』が完成しました！

協和中の特別支援学級『むぎのほ・そよかぜクラス』が農業体験を行うために、校庭すぐ南側にある長谷川農場様の畑をお借りして、『むぎそよ農園』を作りました。

6月初旬に畝（うね）作りが終わり、サツマイモと空芯菜を植えました。そして、根付いたタイミングでワラマルチを敷きつめました。

今後は、水やりを定期的に行いながら、収穫に向けて観察を続けていきたいと思えます。お近くにお越しの際は、是非ご覧ください。



農園に立てられた生徒自作の看板

